

Ubuntu 版 Hinemos リリースノート

第 1.1 版

2013 年 6 月 4 日

株式会社アトミテック

改訂履歴

版数	日付	内容
第 1.0 版	2013 年 4 月 10 日	初版発行
第 1.1 版	2013 年 5 月 27 日	3. 更新内容 <ul style="list-style-type: none"> 更新内容についての項目を追加 Ubuntu 版 Hinemos ver4.0.1 から ver4.0.2 への更新内容を追加
		5-1. Ubuntu 版 Hinemos マネージャ動作検証 <ul style="list-style-type: none"> 検証結果の内容を一部修正 検証環境の OS バージョン一覧を追加
		7-1-3. システムログ監視における既知の問題 <ul style="list-style-type: none"> システムログ監視における既知の問題を追加
	2013 年 6 月 4 日	6. 制限事項 <ul style="list-style-type: none"> 機能に関する制限事項を一部削除 (Windows サービス監視に関する項目)
		7. 既知の問題と対策 <ul style="list-style-type: none"> 監視サービスにおける既知の問題を削除

目次

1.	本書について	4
2.	はじめに	5
2-1.	Ubuntu 版 Hinemos の特長	5
3.	更新内容	6
4.	稼働環境	7
4-1.	推奨スペック	7
4-1-1.	Ubuntu 版 Hinemos マネージャ	7
4-1-2.	Ubuntu 版 Hinemos エージェント	7
4-2.	必要パッケージ	7
4-2-1.	Ubuntu 版 Hinemos マネージャ	7
4-2-2.	Ubuntu 版 Hinemos エージェント	7
5.	動作検証範囲	8
5-1.	Ubuntu 版 Hinemos マネージャ動作検証	8
5-2.	Ubuntu 版 Hinemos エージェント動作検証	9
6.	制限事項	10
6-1.	機能に関する制限事項	10
7.	既知の問題と対策	11
7-1-1.	一括制御における既知の問題	11
7-1-2.	システムログ監視における既知の問題	11

1. 本書について

- 本書は、株式会社アトミテックが提供する Ubuntu 版 Hinemos のリリースノートです。本製品の特長、稼働環境、動作検証範囲、制限事項、既知の問題と対処についてまとめたものです。
- 本書は、Ubuntu 版 Hinemos をインストール及び利用する前に一読して下さい。
- 本書の記載内容に関して、ご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら弊社までお知らせください。
- 本書の内容の一部または全部の複製、転載、再配布を禁止します。
- Hinemos は、株式会社 NTT データの登録商標です。
- Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標です。
- Oracle は、米国 Oracle Corporation の登録商標です。
- Debian は、Software in the Public Interest, Inc. の登録商標です。
- Ubuntu は、Canonical Ltd. の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
- 本文中に R マークは表記しておりません。

2. はじめに

2-1. Ubuntu 版 Hinemos の特長

Ubuntu 版 Hinemos とは、株式会社 NTT データが公開しているオープンソース統合運用管理ソフトウェア Hinemos を株式会社アトミテックが Ubuntu 対応を施し公開しているものです。

従来の Hinemos が提供する Linux 用マネージャ及び Linux 用エージェントは、Red Hat Enterprise Linux (以下、RHEL) や Oracle Linux といった RedHat 系 Linux のディストリビューション上でのみ利用する事が可能でしたが、本製品で提供する Ubuntu 版 Hinemos マネージャ及び Hinemos エージェントは Debian 系ディストリビューションである Ubuntu 上で全ての機能を利用する事ができます。

本製品を利用する事で、複数の Ubuntu がインストールされたコンピュータに対して状態監視・性能管理・ジョブ管理・一括制御を容易に行う事ができます。また、従来の Hinemos がインストールされた RHEL 等の他 OS との混在環境でも利用可能であるため、様々な運用環境へ柔軟に対応することができます。

3. 更新内容

バージョン	日付	内容
4.0.1	2013年4月10日	リリース
4.0.2	2013年5月27日	<ul style="list-style-type: none"> 一括制御 起動と停止の apache 起動及び apache 停止用に Ubuntu 版 Hinemos マネージャにスクリプトを追加 (上記の変更により、Ubuntu 版 Hinemos マネージャから Ubuntu 版 Hinemos エージェント及び従来の Hinemos エージェントへの apache の起動停止をコマンドの変更無しで一括して実施できるように改修)
	2013年6月4日	<ul style="list-style-type: none"> 5月27日リリース版で発生していたリソース監視、性能管理が失敗するバグを修正

4. 稼働環境

4-1. 推奨スペック

Ubuntu 版 Hinemos の推奨スペックは以下のとおりです。

4-1-1. Ubuntu 版 Hinemos マネージャ

項目	構成
対応機種	Intel x86, AMD64 アーキテクチャを持つ PC
対応 OS	Ubuntu Server 12.04 LTS 32 bit
CPU	2Ghz, 1 コア以上
ディスク容量	5GB 以上
メモリ容量(監視台数 100 台未満)	1GB 以上
メモリ容量(監視台数 100 台以上)	2GB 以上
ネットワークインターフェース	1 個以上

4-1-2. Ubuntu 版 Hinemos エージェント

項目	構成
対応機種	Intel x86, AMD64 アーキテクチャを持つ PC
対応 OS	Ubuntu Server 12.04 LTS 32 bit
CPU	1Ghz, 1 コア以上
ディスク容量	1GB 以上(Ubuntu 版 Hinemos に関する部分のみ)
メモリ容量	256MB 以上
ネットワークインターフェース	1 個以上

4-2. 必要パッケージ

Ubuntu 版 Hinemos を動作させる際にインストールが必要となるパッケージは以下の通りです。

4-2-1. Ubuntu 版 Hinemos マネージャ

- openssh-server
- openjdk-6-jre-headless
- unzip

なお一括制御を利用する為には、上記に加え以下のパッケージのインストールが必要です。

- expect
- krb5-clients

4-2-2. Ubuntu 版 Hinemos エージェント

- openssh-server
- openjdk-6-jre-headless
- unzip
- snmpd

動作検証範囲

4-3. Ubuntu 版 Hinemos マネージャ動作検証

Ubuntu 版 Hinemos マネージャをインストールした Ubuntu Server 12.04 LTS をマネージャとし、Ubuntu 版 Hinemos エージェント・従来の Hinemos エージェント・Windows 版エージェントの三種類のエージェント環境に対しての動作検証を行った結果を以下の表に示します。

機能		エージェント環境		
		Linux(Ubuntu)	Linux(RHEL)	Windows Server
監視	エージェント監視	◎	◎	◎
	HTTP 監視	◎	◎	◎
	リソース監視(SNMP)	◎	◎	◎
	PING 監視	◎	◎	◎
	サービスポート監視	◎	◎	◎
	プロセス監視(SNMP)	◎	◎	◎
	SNMP 監視	◎	◎	◎
	SQL 監視	◎	◎	◎
	システムログ監視	○	○	○
	ログファイル監視	◎	◎	◎
	カスタム監視	◎	◎	◎
	SNMPTRAP 監視	◎	◎	◎
	Windows サービス監視	-	-	◎
ジョブ	ジョブ実行	◎	◎	◎
	ファイル転送ジョブ実行	◎	◎	-
一括制御	インストール	◎	◎	-
	起動と停止	◎	◎	
	ユーザ管理	◎	◎	
	ファイルシステム	◎	◎	
	エージェント管理	◎	◎	

◎：インストール時の状態での動作を確認済み

○：設定の変更等を行い動作を確認

-：機能なし

なお、各検証環境の検証時の OS のバージョンは以下の通りです。

OS の名称	OS のバージョン
Linux(Ubuntu)	Ubuntu Server 12.04 LTS 32 bit
Linux(RHEL)	Red Hat Enterprise Linux Server release 6.2 64 bit
Windows Server	Windows Server 2008 R2 64 bit
	Windows Server 2012 64 bit

4-4. Ubuntu 版 Hinemos エージェント動作検証

Ubuntu 版 Hinemos エージェントをインストールした Ubuntu Server 12.04 LTS をエージェントとし、従来の Hinemos マネージャからの動作検証を行った結果を以下の表に示します。

機能		Ubuntu 版エージェント
監視	エージェント監視	◎
	HTTP 監視	◎
	リソース監視(SNMP)	◎
	PING 監視	◎
	サービスポート監視	◎
	プロセス監視(SNMP)	◎
	SNMP 監視	◎
	SQL 監視	◎
	システムログ監視	◎
	ログファイル監視	◎
	カスタム監視	◎
	SNMPTRAP 監視	◎
	Windows サービス監視	-
ジョブ	ジョブ実行	◎
	ファイル転送ジョブ実行	◎
一括制御	インストール	×
	起動と停止	○
	ユーザ管理	◎
	ファイルシステム	△
	エージェント管理	△

◎：インストール時の状態での動作を確認済み

○：設定の変更等を行い動作を確認

△：一部不可

×

×：動作不可

-：機能なし

5. 制限事項

5-1. 機能に関する制限事項

- Ubuntu と RedHat 系ディストリビューションでは一括制御で使用するパッケージに差異がある為、従来の Hinemos マネージャから Ubuntu 版 Hinemos エージェントに対して、一括制御を行う事はできません。従来の Hinemos マネージャから Ubuntu 版 Hinemos エージェントに対して一括制御を行いたい場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

6. 既知の問題と対策

Ubuntu 版 Hinemos における既知の問題と対処方法は以下の通りです。

6-1-1. 一括制御における既知の問題

問題	対処方法
一括制御を使用し Ubuntu サーバに対し「ファイル転送ジョブの設定」を行った際に失敗する場合があります。	SSH 接続の際に DNS の逆引きができず、タイムアウトするまで時間がかかるため、実行に失敗します。 /etc/ssh/sshd_config ファイルで UseDNS の設定を no に変更し、sshd の再読み込み(reload)を行って下さい。

7-1-2. システムログ監視における既知の問題

問題	対処方法
Ubuntu でパッケージから rsyslog をインストールした場合、初期の設定では TCP の 514 ポートを使用できず syslog の転送に失敗します。	Ubuntu の rsyslog パッケージの初期設定では、rsyslogd を syslog ユーザで実行する設定になっているため特権ポート(TCP の 1023 番以下のポート)が使用できず、syslog の待ち受けに失敗します。 /etc/rsyslog.hinemos.conf の \$InputTCPServerRun の設定を 1024 以上に変更し、rsyslog の再起動を行って下さい。 (その際は syslog 送信側のエージェントも変更後のポートを使用するように変更してください) TCP 514 ポートの使用が必要な場合は、マネージャ側の/etc/rsyslog.conf の \$PrivDropToUser の設定を特権ポートを使用できるユーザに変更し、rsyslog の再起動を行って下さい。 (ユーザ変更によるセキュリティリスクを伴いますので、セキュリティポリシーを十分にご確認の上ご実施ください。)

製品名	: Ubuntu 版 Hinemos
公開日	: 2013 年 05 月 27 日
問い合わせ先	: 株式会社アトミテック Hinemos 問い合わせ窓口 E-mail : sales@atomitech.jp
第 1.1 版 2013 年 06 月 04 日	